

1 3 宮城県総合防災情報システム (MIDORI)

Miyagi Integrated Disaster prevention Online system for Rapid and accurate Information

(1) 宮城県総合防災情報システム (MIDORI) の概要

ア 宮城県総合防災情報システム (MIDORI) の役割

- ・ 初動体制を迅速に確立させ、災害による被害を最小限に抑えます。
- ・ 県内の被害情報を迅速に収集し、防災関係機関で相互に情報共有、応急対策を実施したり、相互応援に役立てます。
- ・ 大規模災害時には、膨大な量の情報を整理、様々な情報を一元的に管理し、災害対策の判断に大きな役割を果たします。
- ・ 公共情報コモンズと連携し、災害・被害情報のほか、避難指示・勧告情報や避難所開設状況、支援情報、自治体からのお知らせ等について、公共メディアを通じ県内住民に提供します。

イ 宮城県総合防災情報システム (MIDORI) の特徴

- ・ 観測された震度情報をもとに、県内各地のリアルタイム被害予測を行うことができます。災害発生直後の情報空白期において、初動体制を確立することができます。
- ・ GIS (地理情報システム) を利用し、被害地点情報、被害状況、被害現場の画像等を一元的に管理できます。避難所情報や危険箇所情報等を併せて地図上に表示、情報の視覚化を図ることができます。
- ・ 『みやぎハイパーウェブ』を利用して、各種気象・地象情報や防災情報を、県、市町村、消防本部等で共有ができ、広範囲に渡る災害、多数の負傷者が発生した場合等には、関係機関が情報を共通、広域応援が可能です。
- ・ 携帯メールを使った職員招集等、モバイル技術を活用したシステムです。
- ・ 気象庁から発表される注意報・警報をいち早く市町村・消防本部に通知します。

ウ 機器構成

- ・ サーバ 29 台
- ・ 端末 (クライアント) 市販 PC (各部局, 地方振興事務所・地域事務所, 市町村, 消防本部 (局) 等)

エ 連携している情報システム

- ・ 大気汚染常時監視システム
- ・ 宮城県河川流域情報システム (MIRAI)
- ・ 宮城県震度情報ネットワークシステム
- ・ 宮城県地域衛星通信ネットワーク
- ・ 気象庁地域気象資料伝送網 (L-ADESS)

- ・ 気象庁防災情報提供装置
- ・ 宮城県道路 GIS システム
- ・ 公共情報コモンズ

(2) M I D O R I の機能

ア 気象情報の収集

仙台管区気象台の地域気象観測システムから、各種予警報及びアメダス情報を自動収集

イ 地震情報の収集

県内に設置した震度計から地震情報を自動的に収集する機能(宮城県震度情報ネットワークシステムとの連携)

ウ 河川情報の収集

宮城県河川流域情報システム(MIRAI)から時間雨量、河川水位、水防警報等の収集機能

エ 気象予警報通報

気象予警報を自動的に県地方支部(地方振興事務所・地域事務所)・市町村や消防本部等防災関係機関への配信機能

オ 防災端末による情報集配信

各部局、各地方振興事務所・地域事務所、各市町村消防本部等に設置した防災端末(クライアント端末)から、気象情報、アメダス情報等を検索するとともに、災害時には、各端末から被害状況の入力により集計が可能

カ 映像処理

120インチスクリーンをはじめとした各種スクリーンにより、各種ヘリテレからの災害関係映像情報を表示する機能、及び各課室のテレビへ庁内放送を配信する機能

キ 他情報システムとの連携

収集した観測情報を、気象庁、仙台管区気象台、県河川流域情報システム(MIRAI)、県大気汚染常時監視システム等との連携により、相互の防災情報の交換を行うことができる。